

「ひなた」の下で、 未来の農業を育てよう!



令和5年度 学校案内

MAJC Miyazaki Agricultural Junior College

宮崎県立農業大学校

MIYAZAKI AGRICULTURAL JUNIOR COLLEGE

日本有数の農業県
南国宮崎のフィールドで
農業を学ぶ

学校教育方針

校訓「自律・創造・協調」を基調とした教育をとおして、農業県・宮崎における実践農業の教育機関として、将来、本県の農業を担う人材を育成する。

学校教育目標

生産力

「生産する力(生産技術)」をはぐくむ

- ・講義、演習、農場実習で「生産する力」の定着を図る。
- ・インターンシップ、自主企画研修等の校外学習で「生産する力」の向上を図る。

経営力

「経営する力(経営スキル)」をはぐくむ

- ・農業経営科目の講義や農場実習で「経営する力」の定着を図る。
- ・校外学習や「学生出資会社」で「経営する力」の向上を図る。

解決力

「課題を解決する力(課題を見つけ計画的な取り組みで解決する力)」をはぐくむ

- ・専攻実習における「プロジェクト学習」で「課題を解決する力」の定着を図る。
- ・「地域連携型プロジェクト学習」で「課題を解決する力」の向上を図る。

※地域連携型プロジェクト学習とは…
高校、農家・法人、関係機関等とのコンソーシアム方式による連携・共同プロジェクト学習

社会性

社会性をはぐくむ

- ・農家・農業法人における研修、企業連携新商品開発、流通・販売学習をとおして、地域社会において積極的に活動し、「ネットワークを構築する力」の定着を図る。
- ・「地域連携型プロジェクト学習」をとおして「社会で活躍する力」の向上を図る。
- ・学生自治会活動や寮生活をとおして「コミュニケーション力」や「協調性」の向上を図る。

農業大学校が目指す人材像

1

時代の流れを的確に捉え、持続可能な経営と新たな農業に意欲的にチャレンジする農業経営者

2

グローバルな視点を持って未来を切り拓くとともに、郷土愛を持って地域の創生・発展をけん引するリーダー

主幹行事とカリキュラム



Check! 特色ある学習内容



- スマート農業やフードビジネスを意識した農畜産物や加工品の生産実習
- 学生が主体的に経営する模擬会社により流通・販売の実習
- 地域と連携した教育の展開
 - ① 高大連携事業(交流学习・体験入学)
 - ② 地域連携型プロジェクト学習
 - ③ 関係企業等との連携による新商品開発・販売展開
- 地域の教育力を活用した教育の展開
 - ① 経営者や専門家を講師に招いての「アグリビジネス」の学習
 - ② 校外研修・学習(インターンシップ、自主企画研修、海外農業研修 等)

入学式

卒業式

1年 前期



学生交流会
新入生歓迎会です。

1年 後期



自主企画研修(4週間)
進路を見据えた4週間の研修です。研修先の選定から計画まで、すべて自分で行います。

2年 前期



インターンシップⅡ(5日間)
加工・流通・販売分野での就業体験を行います。

2年 後期



農大祭
毎年11月に開催されます。学生が丹精込めて育てた農畜産物や加工品の販売を行います。

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

総合実習

専攻決定
専攻実習

自分の興味を持った専攻について深く学習します

インターンシップⅠ(5日間)
県内の農家や農業法人において実践的な農業経営を学びます。



大型特殊免許取得
卒業後に活かせる資格の取得を目指します。



体育授業
九州地区の農大生が集まる大会に向け練習をします。



就職説明会(1日間)
県内外の農業法人・企業が一堂に会した法人マッチングを開催します。



プロジェクト発表
各専攻で取り組んだプロジェクト研究成果を発表します。成績優秀者は九州大会へ出場します。



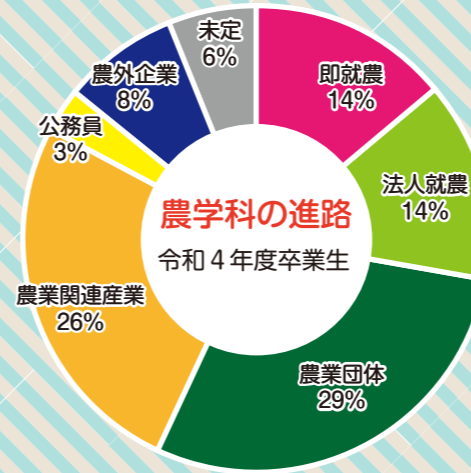
海外農業研修
海外でのファームステイや視察研修等を通して、グローバルな視点を身につけます。



卒業と同時に「宮崎県農業士」と「専門士」の称号が授与されます。また、4年制大学(農業系)の3年次編入の受験資格が得られます。

農 学 科

作物専攻
野菜専攻
花専攻
果樹専攻
茶専攻
フードビジネス専攻



6つの専攻・教育の特徴

本県で栽培されている品目を教材に取り上げ、その特徴や栽培管理技術、商品化技術、農産物の加工・販売等についての実践学習を通して確実な生産技術と経営スキルを身に付け、将来、本県農業に夢を持って意欲的に取り組む人材を育成します。

卒業後の 進路

親元就農、農業法人(㈱NPK(ぶどう園)、㈱嵐丸農園)、㈱南九州沖縄クボタ、㈱ミヤチク、宮崎県農協果汁㈱、JA、農業高校実習助手等

在学生から…

野菜専攻
矢野 心海
宮崎県立日南振徳
高等学校出身



私は講義や自主企画研修で、宮崎県で有名なキュウリに興味を持ち、今は野菜専攻でキュウリを栽培しています。将来は農業大学校で学んだことを活かして、農業分野で、栽培技術の指導ができる人材になりたいと考えています。そのため、日々の講義や実習だけでなく、資格取得にも積極的に励んでいます。

GAPについて

農学科は、以下のとおりGAP認証を受けており、学生と教師一丸となり、GAP知識を習得しています。

- ・ひなた GAP (宮崎県が定める基準) …2018年11月認証
認証取得品目: トマト、きゅうり、いちごなど青果物9品目、米や小麦の穀物2品目
- ・ASIAGAP …2020年1月認証
認証取得品目: トマト、メロン、すいかなど青果物7品目

在学中に取得が可能な資格

- 【作物専攻・野菜専攻・花専攻・果樹専攻・茶専攻】 ・日本農業技術検定(2.3級)・農業簿記検定(2.3級)・日商簿記検定(3級)・車両系建設機械運転技能講習・大型特殊(農耕用)免許・けん引(農耕用)免許・ガス溶接技能講習・アーク溶接特別教育・ボイラー取扱技能講習・危険物取扱者・毒物劇物取扱責任者・玉掛け技能講習・移動式小型クレーン技能講習・フォークリフト技能講習・ドローン検定(1.2.3級)・農業散布用ドローンオペレーター・情報処理検定(初.1.2級)・フラワー装飾技能検定(2.3級)・グリーンマスター認定試験・土壌環境検定(2.3級)
- 【フードビジネス専攻】 ・食品衛生責任者・食品安全検定初級・食品表示検定試験初級

作物専攻

穀物やイモ類、露地野菜などの土地利用型作物の栽培技術と経営について学びます。

【学習科目】

作物の栽培管理、病害虫基礎、露地野菜の栽培管理、作物の流通・販売、先進農業事例研究など。



【栽培内容】

早期水稲、小麦、原料用カンショ、サトイモ、キャベツ、ハクサイ、ダイコンなど

野菜専攻

施設野菜の栽培技術と経営について学びます。

【学習科目】

施設野菜の栽培管理、病害虫基礎、園芸施設と環境、施設野菜の流通・販売、先進農業事例研究など。



【栽培内容】

ピーマン、メロン、中玉トマト、ミニトマト、イチゴ、キュウリなど

花専攻

切り花や鉢物の栽培技術と経営について学びます。

【学習科目】

花きの栽培管理、病害虫基礎、園芸施設と環境、花きの流通・販売、先進農業事例研究など。



【栽培内容】

ランキュラス、スイートピー、トルコキキョウ、ダリア、ポインセチア、ピオラなど

果樹専攻

落葉果樹や常緑果樹、熱帯果樹等の栽培技術と経営について学びます。

【学習科目】

果樹の栽培管理、病害虫基礎、園芸施設と環境、果樹の流通・販売、先進農業事例研究など。



【栽培内容】

マンゴー、ライチ、ミカン、キンカン、日向夏、ブドウなど

茶専攻

茶の栽培・加工技術と経営について学びます。

【学習科目】

茶の栽培管理、病害虫基礎、茶の加工、茶の文化・歴史、茶の流通・販売、先進農業事例研究など。

■実習は宮崎県総合農業試験場(茶業支場)において行います。



【栽培内容】

茶
(煎茶、釜炒り茶、半発酵茶、発酵茶など)

フードビジネス専攻

農産物の生産から加工、流通、販売、消費について総合的に学びます。

【学習科目】

食品加工、商品開発と流通販売、フードビジネスゼミ、食品基礎実験、会社経営演習、6次産業化、マーケティングと販売戦略など。



【実習内容】

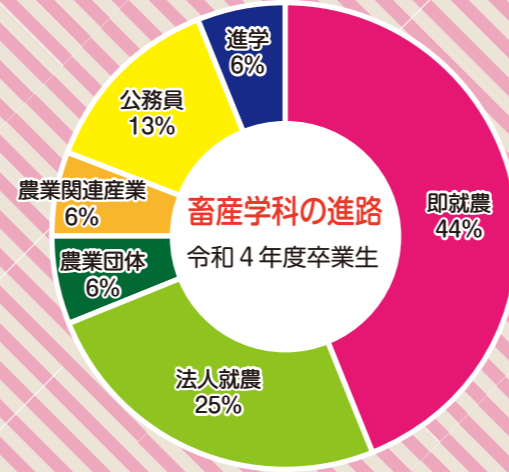
焼き菓子類、ジャム、パン、乳製品、肉加工品など(栽培実習あり)

農畜両学科から選択可能です

畜産学科



肉用牛専攻
酪農専攻
養豚専攻
フードビジネス専攻



4つの専攻・教育の特徴

本県で主に飼養されている家畜を教材に取り上げ、その特徴や飼養管理・繁殖管理・肥育管理技術、出荷の方法、畜産物の加工・販売等についての実践学習を通して、確実な生産技術と経営スキルを身に付け、将来、本県畜産業に夢を持って意欲的に取り組む人材を育成します。

JGAPについて

畜産学科では2021年12月に、乳用牛・生乳、肉用牛においてJGAP（家畜・畜産物）の認証を受けました。宮崎県内では9農場目、教育機関では宮崎大学について2校目の認証取得になります。

JGAPとは…農家やJA等生産者団体が活用する農場管理基準であり、家畜衛生や飼養管理（アニマルウェルフェア）、環境保全など113項目にも及びます。

在学中に取得が可能な資格

【肉用牛専攻・酪農専攻・養豚専攻】 ・日本農業技術検定（2.3級）・農業簿記検定（2.3級）・日商簿記検定（3級）・車両系建設機械運転技能講習・大型特殊（農耕用）免許・けん引（農耕用）免許・ガス溶接技能講習・アーク溶接特別教育・ボイラー取扱技能講習・危険物取扱者・毒物劇物取扱責任者・玉掛け技能講習・移動式小型クレーン技能講習・フォークリフト技能講習・ドローン検定（1.2.3級）・農業散布用ドローンオペレーター・情報処理検定（初.1.2級）・家畜人工授精師・家畜人工受精師（家畜体内受精卵移植）・2級認定牛削蹄師・家畜畜

【フードビジネス専攻】 ・食品衛生責任者・食品安全検定初級・食品表示検定試験初級

卒業後の進路

親元就農、農業法人（榑本部農場、榑スギモトファーム）、JA、西米良村役場（地域起こし隊）、鹿児島県立農大進学 等

在学生から…

酪農専攻
赤木 理樹
宮崎県立小林秀峰
高等学校出身



幼い頃から近くに牛がいる環境で育った私は、畜産について学びたいと思い、農業大学校に入学しました。今は酪農専攻で、飼養管理や搾乳、人工授精などを日々行っています。将来は、地元・小林市で和牛繁殖をしたいと考えており、畜産についての知識・技術が習得できるように頑張っています。

肉用牛専攻

肉用牛の飼養管理技術や繁殖・肥育経営について学びます。

【学習科目】

家畜の栄養と飼料、育種と繁殖、肉用牛の飼養管理、家畜の衛生と環境、肉用牛の飼料設計、畜産の新技术、肉用牛経営コンサルティングなど。



【飼育内容】

繁殖牛（黒毛和種）55頭
肥育牛（黒毛和種）40頭

酪農専攻

乳牛の飼養管理技術や酪農経営について学びます。

【学習科目】

家畜の栄養と飼料、育種と繁殖、乳牛の飼養管理、家畜の衛生と環境、乳牛の飼料設計、畜産の新技术、酪農経営コンサルティングなど。



【飼育内容】

乳用牛20頭

養豚専攻

豚の飼養管理や養豚経営について学びます。

【学習科目】

家畜の栄養と飼料、育種と繁殖、豚の飼養管理、家畜の衛生と環境、豚の飼料設計、畜産の新技术、養豚経営コンサルティングなど。

■実習は宮崎県畜産試験場（川南支場）等において行います。

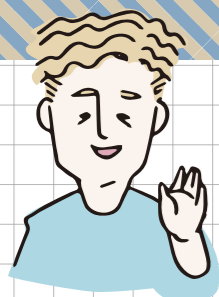


アグリカレッジひなた

アグリカレッジひなたは、学生が出資する模擬会社で、会社経営に関する基礎知識を身につけることを目的としています。

農畜両学科の学生が社長や会計などを務め、地域内の契約店舗での販売や農大市・農大祭において、販売・接客について学びます。





寮生

農大生のある1日 Campus Life

通学生



6:00 起床

7:00 起床

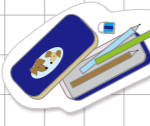
7:30 朝食

8:30 登校



1~3 限目

12:10 昼食



4~6 限目

16:40 帰寮

17:00 夕食

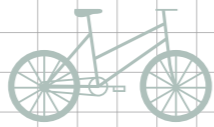
19:00 風呂

プライベート

23:00 就寝

ある1日の時間割

時限	科目
8:50~9:50	農業概論
10:00~11:00	英会話 (講師を招いて、社会人として必要な一般教養を身につけます)
11:10~12:10	英会話
お昼休み	
13:10~14:10	総合実習 (各専攻を回り、栽培や家畜の飼育について基本的な技術を学びます)
14:20~15:20	総合実習
15:30~16:30	総合実習



17:00~18:00 帰宅



レストラン



ご飯と牛乳は農大産です。

お風呂



実習の汗をお風呂で流します。

寮の居室



寮の部屋は2人部屋。

寮ロビー



共用スペースで寮文庫や雑誌を読むことができます。

保健室



ケガだけでなく、悩み相談もできます。

草原教室



農大で一番大きな教室です。全校集会や自治会総会など全員が参加する行事が行われます。

図書室



専門書が多数そろっています。

体育館



入学式や卒業式、球技大会が行われます。

施設の紹介

宮崎農大ではこんなことが出来る!



GAPに対応した出荷施設

農学科ではひなたGAP、ASIAGAPを、畜産学科ではJGAPを取得しています。



プロジェクトによる商品開発

商品開発において、原価計算や価格決定、食品表示など、販売までの全ての工程を学生自ら取り組みます。



大型特殊免許(農耕用限定)等の取得

1年次に大型特殊免許(農耕用限定)、2年次にけん引免許(希望者のみ)を取得できます。



スマート農業の実践

GPS付トラクターで作付けや耕うんを行ったり、環境制御装置付ハウスで生育管理をしています。



農業散布用ドローン資格

全国農大で初めて農業散布用ドローンオペレーターの教習施設に認定されました。



大型機械等を活用した牛の管理

10ha超の広大な圃場での飲料作物の生産や発情等の感知にICT機器を活用し、学生自ら管理しています。

在学中の必要経費

- 校納金 …… ①入学金5,650円 ②授業料(2年間)237,600円
- 学生預金 …… 1年次 寮生 690,000円 通学生 620,000円
 2年次 寮生 690,000円 通学生 620,000円
- 教材費、資格取得、作業服代、寮経費、海外研修費 等含む
- 食費 …… 20,000～30,000円程度/月 1,030円/日 (令和4年度実績)

新規就農者育成総合対策(就農準備資金)

国の事業を活用した就農支援策が受けられます。

対象者:卒業後、独立・自営就農、または農業生産法人に就農する学生

交付額:最大150万円/年(2年間)

※要件や審査等があります。

■お問い合わせ……(公社)宮崎県農業振興公社 TEL:0985-51-2011



奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金が利用できます。

- ①給付型奨学金(返済不要)
 - ②第一種奨学金(無利子)
 - ③第二種奨学金(有利子)
- 貸与型奨学金(返済必要)

※給付型の採用を受けた学生は、入学金・授業料の免除が受けられます。

■お問い合わせ……日本学生支援機構 <http://www.jasso.go.jp>



交通アクセス

- JR日豊本線
高鍋駅下車 北へ8km 川南町駅下車 南へ5km
- タクシー
高鍋駅より約15分 川南駅より約10分
- バス
宮崎交通バス 高鍋営業所発 都農行き「農業大学校前」下車



宮崎県立農業大学校

〒884-0005
 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田5733番地
 TEL 0983-23-0120 / FAX 0983-22-2529

